

## 令和4年度の資料整理

### 1. 考古資料

考古資料はひとつおりの整理が完了しており、新たな受け入れ資料もなかった。

京都府立大学のACTRに協力し、湯舟坂2号墳出土遺物の再検討を行った。

### 2. 歴史資料

#### (1)古文書資料の目録整理

当館に寄附・寄託などされた未整理の古文書・歴史資料の調査を行い、目録の作成や写真撮影をおこなった。整理を行った主要な文書群は以下のとおりである。

##### ・与謝郡菅野村大泉家文書 1421点

与謝郡菅野村(現伊根町)で庄屋を務めた家に伝わる古文書群で、近世文書は明和6年(1769)の野村(現伊根町)との井堰をめぐる争論の文書のほか、土地の売渡証文、金銭の借用証文など約70点がふくまれる。

その他は近代文書と典籍類である。近代文書についても金銭の借用証文や土地の売渡証文の他、軍事郵便などが含まれる。第二次世界大戦の際、大泉家から中国北部と南洋地域にそれぞれ1人ずつ出征しており、軍事郵便は出征した本人が現地から近況を報告したものや、2人とも戦死してしまうが、その時の状況を戦友や上官が報告する内容のものが含まれる。

##### ・宮津藩本庄家関係資料 約500点

宝暦8年(1758)から明治維新まで、宮津藩主を代々務めた本庄家に関する古文書群で、將軍御内書や老中奉書、藩主の幕府役職就任時の起請文など、近世大名家の基本史料が含まれる。

今年度は未完了だった箱の目録作成と文書全点の写真撮影をおこなった。

#### (2)古文書・歴史資料調査

京都府立大学ACTRに協力し、由良神社(宮津市

由良)や君尾山光明寺(綾部市睦寄町)の調査に参加した。

館内では、今年度もボランティアによる古文書整理を行っている。作業は毎週行い、当館所蔵資料や一時預かり資料のクリーニング、目録作成に取り組んでいる。この他、他の博物館や研究機関の調査を受け入れた。

### 3. 民俗資料

#### (1)企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年ー」関連資料整理

昭和54年に館蔵資料となった宮津市木子の民具を中心に、丹後半島山間地域で使用されていた生活用具や農具等約500点の再整理を行った。そのうち30点を企画展に出品した。

#### (2)寄託資料整理

令和4年7月6日付けで寄託を受け入れた森本孝撮影写真ポジフィルム(35mmフィルム)906点について、目録作成並びにデジタル化作業を進めている。森本孝(1945-2022)氏は、元水産大学校教員(民俗学)でありカメラマン。昭和52~53年には丹後の漁撈習俗や漁村の町並みを撮影。写真の一部は著書『舟と港のある風景ー日本の漁村・あるくみるきくー』(農文協、2006年)等に使用されている。

#### (3)寄附資料整理

令和4年度に寄附を受け入れた民俗資料13件195点について、クリーニング作業をはじめ、写真撮影、計測作業、目録作成を行い、適宜収蔵庫等へ配架した。そのうち2点(京丹後市大宮町延利の植林用具等)を企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年ー」に出品した。

### 4. 写真等整理

写真カードの内容をエクセルで入力し、データベース化して検索の利便性を向上させた(継続作業中、今年度までで19088枚が終了)。

## 5. 資料の受け入れ

## 【寄附】

新たに受け入れた資料は以下のとおりである。

- ・与謝野町字算所の縮緬生産用具・生活用具(高機・紋紙図案・正絵・掛袱紗等) 10件
- ・宮津市漁師町の漁撈用具(イワシ地曳網・桐浮き等) 14点
- ・京丹後市久美浜町金谷の生活用具(電気あなか) 1点
- ・福知山市大江町千原の養蚕用具・生活用具(寒暖計・高下駄・押し型) 6点
- ・伊根町亀島のメ粕製造用具(ジャッキ) 1点
- ・伊根町亀島の大敷網模型(1/50サイズ) 1点
- ・京丹後市弥栄町木橋の戦争関係資料 89点
- ・宮津市小田宿野の漁撈用具・生活用具(鯨銛・鯨網、裂織着物・腰蓑等) 18点

- ・宮津市喜多の株切り 1点
- ・綾部市白道路町の生活用具(墨壺・ベビーアイロン・車輪付き人力鋤) 5点
- ・宮津市江尻の漁撈用具(ナマコヒキ) 1点
- ・京丹後市大宮町延利の植林用具・生活用具(下刈り鎌・雪起こし用綱・大盃等) 15点
- ・舞鶴市字伊佐津の書画資料・生活用具等(幻灯機・輪転謄写機・手水器等) 15点
- ・与謝野町字滝のうどん皿 4種18点

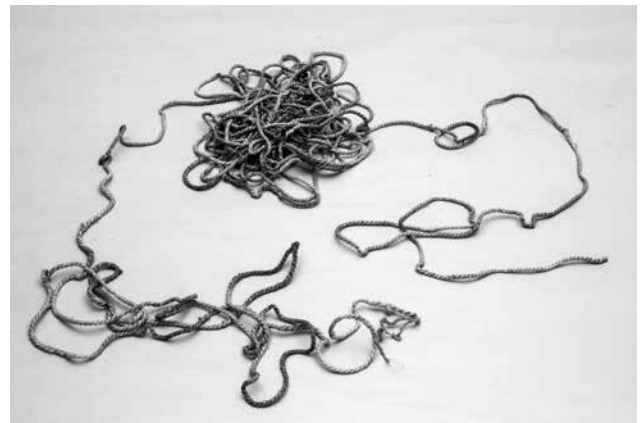
## 【寄託】

新たに寄託された資料は以下のとおりである。

- ・宮津藩札版木 1点
- ・丹後へき地教育研究会『ふきのとう』創刊号～19号(13号欠)、1970～1988年 18冊
- ・森本孝撮影写真ポジフィルム(35mmフィルム) 906点



四十二の祝い用大盃(京丹後市大宮町五十河)



小田宿野の捕鯨用具(鯨網部分)



丹後へき地教育研究会『ふきのとう』



宮津藩札版木

## 丹後学び舎セミナー活動報告

### 1. ぶらり丹後

学芸員の解説を聞きながら歩くことで、おなじみの場所の新たな魅力を発見できる現地講座を今年度も実施した。

#### 【智恩寺と文珠地区】

- ・日時：5月14日(土)13時30分～15時30分
- ・行程：智恩寺駐車場—三角五輪塔—吉野神社—どん淵—廻旋橋—天橋立神社—智恩寺
- ・案内人：当館資料課技師 稲穂将士
- ・内容：智恩寺が位置する文珠地区は天橋立の付け根に位置することから、雪舟筆「天橋立図」をはじめ、天橋立を主題とする絵画に多く描かれてきた。それら絵図のうち文珠地区が描かれている部分を手に、智恩寺とその周辺を散策した。
- ・参加者：23人

### 2. 古文書講習会

昨年度に引き続き、資料館友の会と共催で実施した。実施日は、6月25日から1月21日までの7回。毎回土曜日に実施。午前は実践編、午後は入門編として1日に2講座、計14回行った。参加者は入門編が延べ173人、実践編が延べ97人。

#### 【入門編】

今年度前半は、『宮津市史』史料編第3巻所収の「宮津在方法令条目」という翻刻された文書を

テキストに、古文書独特の漢文調の文章の読み方や語句の解説をおこなった。

後半は、「明智光秀・長岡藤孝・忠興連署禁制」(成相寺蔵)や、江戸時代の宮津藩主が発給した文書、『三上家文書』の中から土地や家屋敷の売券状などを讀んだ。最終回には原文書に実際に触れながら、古文書の取り扱い方の基本を解説した。

#### 【実践編】

「本庄家譜 第32巻乃至第34巻 宗秀第5乃至第7」(『糸井文庫』36-36)のうち、慶応2年(1866)4月から11月までの内容を解説。この年は、当時の宮津藩主で老中の職にあった本庄宗秀が第二次長州征伐の先鋒副総督を務めた年であり、その時の様子を明らかにするべく解説を進めた。

### 3. 子ども体験教室

「勾玉を作ろう」、「銭を作ろう」をそれぞれ4回ずつ、「鏡を作ろう」を2回、資料館友の会と共催で実施した。

勾玉作りでは、古墳から出土した勾玉を間近に見てイメージを膨らませながら、滑石を紙やすりで削り、磨いて思い思いの形の勾玉を完成させた。

銭作り・鏡作りでは、耐熱シリコン製の鋳型に溶かした合金を流し込んで鋳造し、バリ取り、研磨して和同開珎・内行花文鏡のレプリカを製作。

参加者は「勾玉を作ろう」が131人、「銭を作ろう」が123人、「鏡を作ろう」が34人であった。



ぶらり丹後のひとこま



鏡作りのひとこま

## 令和4年度のあゆみ

- 4.1 常設展「海国・丹後を巡るー丹後の歴史と文化ー」  
(～3/31)
- 4.16 企画展「海上禅叢ー天橋山智恩寺の名宝からー」  
(～6/12)
- 4.30 文化財講座①  
「丹後・天橋立文化の精華ー智恩寺文化財総合調査の成果からー」  
講師：京都産業大学教授 石川登志雄氏
- 5.28 文化財講座②  
「仏像の中をのぞいてみよう！」  
講師：京都府教育庁指導部文化財保護課 桑原正明氏
- 6.25 古文書講習会(全7回)  
(6/25、8/27、9/17、10/29、11/26、12/17、1/21)〔午前：実践編、午後：入門編〕
- 7.16 京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会  
「あやしい京都」連携展「あやしい丹後」  
(～9/4)
- 7.29 こども体験教室  
勾玉(7/29、7/30)、銭(8/5、8/6)、鏡(8/10)
- 9.27 巡回展「発掘された京都の歴史2022」  
(～10/10)
- 10.7 文化財講座③  
「発掘された京都の歴史2023のみどころ」  
講師：公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 肥後弘幸氏
- 10.22 特別展「祈りのカタチー丹後に生きた人々の願いー」  
(～12/11)  
夜間開館(10/22・29・11/3・4・5)  
本館等ライトアップ (～11/7)  
ビデオプロジェクションアート (～12/11)
- 11.3 特別展関連事業 銅鐸鑄造体験  
お抹茶付き音楽会
- 11.5 熱気球飛行、ミニマルシェ(国分天王会)、Eバイクツアー(モニターツアー)
- 11.5 文化財講座④  
「古代丹後の祈りと信仰」  
講師：京都府立大学教授 菱田哲郎氏
- 11.19 文化財講座⑤  
「丹後の仏教文化」  
講師：京都国立博物館名誉館員 若杉準治氏
- 12.24 企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年ー」  
(～4/9)
- 1.26 タウンミーティングー丹後ばらずしの謎を語るー  
・講演「全国各地の食文化」  
講師：文化庁参事官(食文化担当)調査官 大石和男氏  
・タウンミーティング  
コーディネーター：中村均司氏  
パネリスト：大石和男氏、前川昇平氏、丸田智代子氏、矢野鈴枝氏、由村愛子氏
- 1.28 文化財講座⑥  
「消えない村ー京丹後の離村集落とその後ー」  
講師：福知山公立大学教授・NPO法人TEAM旦波 小山元孝氏
- 3.4 海の京都の文化観光連携シンポジウム【第1部】  
・講演①「経ヶ岬灯台の文化財的価値」  
講師：文化庁文化財第二課調査官 番光氏  
・講演②「伊根町の文化観光資産の魅力」  
講師：海の京都DMO伊根地域本部事務局長 吉田晃彦氏
- 3.5 海の京都の文化観光連携シンポジウム【第2部】  
・講演③「現役の航路標識について」  
講師：元鳥羽海上保安部次長(現四日市海上保安部職員) 藤島充良氏  
・討論  
パネリスト：山口圭一氏、小山元孝氏、番光氏、藤島充良氏、吉田晃彦氏
- 3.11 文化財講座⑦  
「旧世屋・野間の人々の暮らしの中のいのり」  
講師：元与謝野町文化財保護委員会会長 小野泰昭氏



文化財講座のひとつ

---

丹後郷土資料館調査だより 第12号

発行 2023年(令和5年)7月1日

編集 京都府立丹後郷土資料館

〒629-2234 京都府宮津市字国分小字天王山611-1

TEL(0772)27-0230 FAX(0772)27-0020

<http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>

---